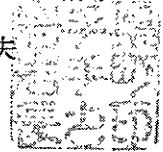


岩 地 第 1 3 2 号

平成20年10月15日

国土交通省道路局長 殿

岩手県岩手町長 民部田 幾夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月25日付国道企第37号で依頼のありました標記について、別紙のとおり提出いたします。

〒028-4395

岩手県岩手町大字五日市第10地割44番地

岩手町役場 地域整備課地域整備係 担当 副主任 高橋

TEL 0195-62-2111（内線323）

FAX 0195-62-2152

Mail kensetu-1@town.iwate.iwate.jp

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

岩手県 岩手町

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

1、道路特定財源の見直し

- 1) 平成20年5月31日に基本方針が閣議決定された「生活幹線の整備」や「地方の自主性を生かした道づくり」を採択し実行。
- 2) 道路利用者や納税者に対し、納得した形での道路整備を実施し、財源を今後とも継続的に確保されるような積極的な活動の展開をお願いしたい。

2、慢性的な渋滞路線への対応(要望)

- 1) 30,000台/日以上交通量を要する盛岡北道路の4車線化への早期着工完成。

3、少子高齢化への対応

- 1) 少子高齢化が進み、特に高齢ドライバーが増加し車社会の高齢化に一層の拍車がかかる。よって、対応できる道路整備を検討。

4、社会資本の維持管理

- 1) 道路施設の更新時代となった近年、利用者の安心安全を図るための維持管理が益々重要となってくる。

5、道路冠水による事故防止及び異常豪雨による被災防止

- 1) 近年、集中豪雨による道路の冠水や民家への浸水が多発しており、異常豪雨へ適確に対処していく必要がある。特に適確な情報の収集が重要であり、初動体制に大きく影響する。必要な措置を迅速に行うには警報装置の設置が必要となる。また、同じ情報を簡単に収集できるシステムの構築が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-1 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

岩手県 岩手町

○現状

当町はまだまだ社会資本整備が遅れており、未着手路線も多い。今後は高齢化が進むことから、医療機関へのアクセス道路としての利便性が求められている。よって、迅速な対応が急務となる。

○現状

最近、水位計が設置されていない区域での局地的な異常豪雨が多く、対応が遅れる事から、急激な増水に対して、迅速かつ適切な道路管理が求められている。

○課題

都市部と地方部を短時間で連結するには、幹線道路である国道4号の拡幅改良しながら、補助幹線である地方道とのネットワーク化を図ることが課題となる。

○提案

道路機能を利用した警報システムについて

最近の異常豪雨は短時間で集中的なものが多く、それに対応するためには、局地的な集中豪雨を素早く関知できる警報システムの開発が必要と考える。

(近年、福祉用に警報システム付の魔法瓶や水道メーター等が普及されている。それと同様に道路施設である側溝(円形側溝)を警報装置として有効に活用する。たとえば、下水道用の被満水電磁流量計等と警報システム付メータを融合させ、ある一定の時間、満水が続いた場合、警報(通信、連絡)がなされる等のシステムを提案する。

※水道メーカによれば、技術的に可能であるとの事である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②-1 地域の目指すべき将来像

岩手県 岩手町

1、生活幹線道路としてのネットワーク化

- 1) 地域の自立を考慮した幹線道路の整備促進。
- 2) 通勤、通学路としての安全・安心な歩道空間の確保。
- 3) 道路橋の予防保全を行い、安全な道路管理を実施していく。

2、日常生活における道路のあり方

道路を道としてだけでなく、防災対策として道路機能を有効に活用する。

- ・ 局地的な集中豪雨箇所の特定制を図るため、側溝排水を利用した警報システムの設置
(冠水危険箇所へ設置により、警報で連絡を受けられる)
(端末機、携帯電話など移動中でも連絡を受けられる)
(監視カメラにはないメリットとして、夜間の集中豪雨でも警報により箇所が把握できる)
(道路のアンダーパス部の冠水の初動体制が可能となる)
(道路管理者、警察、消防等関係機関への一斉連絡が可能となる)

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

岩手県 岩手町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
交通安全の向上	交通事故防止の対策を図る。	通勤通学路における歩行者空間を確保し、交通事故を防止する。	
交通安全対策及び危機管理の強化	道路橋を点検し、修繕の実施。	橋梁の長寿命化事業を推進することにより、耐震化が図られ、適切に道路管理ができる。	
地域の実情に応じた道路整備	道路構造令の弾力的な運用。	1. 5車線的な整備で一定の機能を保つことにより、費用対効果が図られる。	
災害防止としての道路の役割	局地的集中豪雨での雨量状況を敏速に察知するため、道路機能(側溝)を利用した監視システムを提案する。	道路側溝に検知機器を設置する事で、局地的な豪雨にも適確に対処できる。(地区を適確に把握でき、初動体制が確立でき、警察と消防との連携(情報の一元化)が強化できる。	